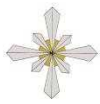


向陽中学校だより<第16号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 他とつながり、自己の目標達成に向け全力で努力できる

平成30年1月9日(火)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
TEL35-2348 Fax35-2849



新年明けましておめでとうございます

例年になく寒さが厳しい新年、平成30年戌(イヌ)年が始まりました。本年もよろしくお願いたします。新年1月4日から部活動に励む1, 2年生や、昨年末から引き続き面接の練習や勉強に真剣に励む3年生の頼もしい姿も見られました。

昨年は保護者や地域の皆様には、学校やPTAの各種行事、授業参観などに多くの参加をいただき、たくさん応援いただきました。心よりお礼申し上げます。

新しい年を迎えて、今年こそはという気持ちに燃えて3学期がスタートしました。3年生は進路実現に向けて、1, 2年生は学年の締めくくりとして、短い期間ではありますが、学力向上と豊かな心の育成に全力で取り組んで参りますので、本年もよろしくお願いたします。

さて、昨年も紹介しましたが我が家では元日に家族が一同に集まり家族写真を撮ります。一枚の色紙にその写真を貼り、各自新年の抱負や決意・目標を書き入れることが恒例となっています。親と子どもたちが一緒になって考え(悩み?)ます。今年は社会人や大学生の子どもたちが「勉強」や「根気強く」「誇りを持って」という目標を書き込み、成長の跡がちよっと垣間見ることができました。

外国に比べ日本の子どもたちは、自己肯定感が低いというデータがあります。さらに言えば、自己存在感が低い、自信がないということです。他から褒められる、認められる機会が少ないようです。また、将来への夢も持てないようです。自分を認め信頼できる人や仲間が一人でも増やせるように、まずは親や教師が日頃からたくさん会話や言葉がけをすることが必要だと思います。この正月は、将来の夢や目標についてお子さんと話をする絶好のチャンスです。子どもたちは新しい年を迎え、今年こそはという気持ちが大きくふくらんでいます。ぜひ志(夢や目標)を持続ければ、きっと成功する、いつも応援してくれる人がいるということをお話してあげてください。



～めぐりあい～
あなたにめぐりあえて
ほんとうによかった
ひとりでもいい
ところから
そういつてくれるひとがあれば
<みつを>
(そんな家族や教師でありたいと思います。)



12月22日に小さな親切委員会委員長、副委員長さんが、本校で集めた善意の赤い羽根共同募金46,823円を社会福祉協議会に手渡しました。



12月28日に相馬警察署より向陽中に、警察活動に協力した功績が認められ、感謝状が授与されました。

3学期始業式 学校長式辞

(1月9日 3学期始業式にて)

新年明けましておめでとうございます。皆さんはこの冬休みを有意義に過ごすことができましたでしょうか?今年(イヌ)年です。犬は社会性があり、忠実で人との付き合いも古く、親しみ深

い動物です。また、犬はお産が軽いとされることから、安産については「戌の日」が吉日とされています。さらに、戌の干支の特徴として“勤勉で努力家”とあります。楽をしているだけでは成果は得られません。毎日の積み重ねが大事です。平成30年が向陽中学校のみなさん一人ひとりが一人にならない、一人にしない気持ちをもって他とつながり、希望に満ちた1年にしていきたいと思えます。

さて、今年もまた、2日、3日の東京箱根間往復大学駅伝（箱根駅伝）で素晴らしい走りに感動と勇気をもたらしました。往路2位の青山学院大学が10時間57分39秒の大会新記録で、史上6校目の4年連続4度目の総合優勝を果たしました。連覇を成し遂げたその裏では、言葉では言い尽くせない強い意志と努力、一人ひとりを生かすチームの力があつたはずで、心より拍手を送りたいと思えます。そして、3年連続2位の東洋大の酒井監督を始め福島県出身の監督が率いる大学及び選手が粘り強い走りを見せ、新春の箱根路を盛り上げてくれました。

青山学院大学の今季のチームは過去3年のデータを指針に鍛えられました。練習、大会でのタイムなどを全て洗い出し、どの時期にどのレベルに達すれば箱根駅伝で優勝できるかを初めて数字で示したそうです。本大会前の出雲駅伝では3位、全日本駅伝では3位と優勝を逃しました。他校の激しい対抗意識に、原監督は「ここで勝つてこそ真の強豪校」と決意を新たに、混戦も予想された大会で選手とともに重圧を跳ね飛ばしました。「勝つための方程式」は、努力と研鑽で蓄えた青山学院大学の底力を示しました。「出雲も全日本も、いい区間もあるが、悪い区間もある凸凹駅伝だった。箱根駅伝は凸凹では絶対に勝てない。オーケストラのような美しいハーモニーを奏でることが出来なければ勝てない。しかし、一人でも音程を外したら負けてしまう。逆に言えば、調和の取れた駅伝が出来れば絶対に勝てる。指揮者である私の腕の見せ所です」（原監督）敗戦の反省をもとに命名されたのが「ハーモニー大作戦」でした。まさに総合力、チーム力の勝利でした。これはそのまま、向陽中にも当てはまることです。

今日から3学期が始まります。授業日数は1、2年生は52日、3年生は45日と短い学期ですが、今年度を締めくくる大切な学期です。そして3年生にとっては中学校生活総まとめの学期となります。有終の美を飾るべく、次の3つ、「毎日の授業を充実させ、家庭学習に毎日取り組む」こと、「心身の健康管理に十分注意し、毎日元気に登校する」こと、「中学生らしい服装・態度、発言・行動に気をつけ、特にいつも思いやりの心をもって他と接する」ことに全力で取り組むよう期待しています。

2学期の終業式で「新年に一つの決意を」という話をしました。新しい年になるということは、自分を大きく変えていくチャンスが来たということです。この1年間のうちには、誰もが、友人関係や、学習のことなど苦しいことや理不尽なことに出くわすことがあります。「この経験を生かして、次は頑張ってみよう」と思うのと、「もう、だめだ。運が悪いなあ」と思うのとでは、その後の行動が変わり、結果も違ってくるのは明白です。「私の未来は私が切り開く」そんな今の決意を持続し、実現していくためにも、前向きな気持ちを持って、充実した1日を過ごしていけば充実した将来につながるでしょう。短い3学期あっという間に過ぎていきます。今を大切に。1日1日を大切に。

1、2年生は来年度に向け中堅学年、最高学年として何が必要なのか考えながら生活してください。3年生は進路実現に向け大切な時期を迎えます。苦しくても逃げないで向かっていってください。後輩たちは、皆さんの真剣な姿を応援しています。平成30年のスタートにあたり、すべてのみなさんが、夢や目標をしっかりと掲げ、目標に向かって1日1日しっかりと努力し続けることを願うとともに、その夢や目標が必ずや達成されんことを心から祈ります。

これから一層寒さが増しますが、厳しい冬に体も心も頭も、部活動の技も大いに鍛えてください。そして、今年度の重点目標「他とつながり、自己の目標達成に向け、全力で努力することができる」ように、全校が一丸となって取り組んでいきましょう。以上をもって式辞といたします。